

トピックス

社会資本の維持管理の講習と図書について

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会

1. はじめに

今後、社会資本の維持管理を適切に進めていくには、当技士会会員の多くが所属する地方の中小建設会社の役割は大きい。

しかし維持管理をきちんと担っていくには、維持管理の特殊性を理解した上で適切な施工を行う必要がある。このための技術図書の新規作成と講習を今後数年間で進めていくものである。

2. 維持管理のための技術図書作成計画 (案)

1) 分野

①「道路 (舗装)」②「下水」③「河川」④「橋梁 (コンクリート橋)」の4分野を対象に、平成25年度から順次、年間1分野の図書を作成し、次年度からその図書を用いた講習を実施する。平成25年度は、①「道路 (舗装)」に関する図書を既に作成中であり、平成26年度に、その図書を用いた講習を行っていくものである。

2) 内容

若い技術者向けの基礎編である。また、「維持管理基礎講座」などとしてシリーズ化して、一定レベルの基礎知識を学べるような内容になっている。

3) 図書のページ数

図書は、分野毎に各A4で100-150P程度である。

3. 維持管理のための講習計画 (案)

受講案内については、決定次第、JCMホームページに掲載 (準備中) しますのでご覧下さい。

募集予定としては、平成26年7月以降を考えている。

4. おわりに

「国土交通省の社会資本メンテナンス戦略小委員会の議論でも、構造物の点検・診断や評価、設計、工事を適切に実施するための技術者確保に向けた民間資格の活用や、新たな資格、診断などの技術者で構成する組織の創設の検討などを打ち出している。」(25.11.25建設通信新聞記事より抜粋)

以上のことから、今後、中小建設会社も含めた土木技術者に対し、維持管理の施工や点検・診断についての基礎的知識を習得する場を与えていくことで、維持管理専門技術者の育成にもなるものと思われる。